

学力とは何かを知り、学習の3段階理論と読解力を身に着け、  
学校成績向上と第一希望校合格を果たそう(2)

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：先月号では、「学習の3段階理論」の第1番目の「理解」について、学校や開倫塾の先生方の授業で「理解」する場合のポイントまでお聞きしました。その続きを教えてください。「理解」の場面は授業以外にもありますか。

A：「予習」と「復習」があります。

Q：予習での「理解」のポイントは何か。

A：「予習は何のために行うのか」、「予習」の意味を明確に「定義」することです。

- (1)開倫塾では、「予習は、よくわからないこと、つまり、よく理解できないことをはっきりさせてから授業に臨むために行うものである」と「定義」しています。
- (2)具体的には、「予習」をしていて意味のよくわからないことばがあったら、「気持ちが悪い」と考え、辞書や百科事典、各教科の用語集、学年別や教科別の参考書などを用いて調べることです。また、インターネットで検索することです。
- (3)辞書などを用いて調べたことは、「意味調べノート」に書き写すこと。そのノートは折に触れて繰り返し読み直し、すべて覚えることです。
- (4)意味調べに続いて、「予習」で大切なのは、教科書や教材の一字一句すべてを丁寧に読み、よく理解できないところ、つまり、どこがよくわからないかをはっきりさせることです。
- (5)さらに大切なのは、教科書の例題や練習問題、実力問題はもとより、学校や開倫塾で用いている問題集のすべての問題を自分の力でノートに解いてみることです。そして、よくわからない問題は、授業までに自分の力で調べましょう。また、友達とも話し合ってみましょう。それでもわからない問題は何かをはっきりさせてから臨むのが、授業です。
- (6)このようにして「予習」をし、よく「理解」できたらどうするか。教科書や教材、問題集を「スラスラとよく読めるようになるまで声を出して読む」「声を出しながら読み、大切なことは覚える」ことです。これを「音読練習」といいます。英語はもちろん、国語や社会、理科、数学、実技4教科も、「予習」をしてよく「理解」できたことは、授業時間までに「音読練習」をして「スラスラとよく読める」までにする。よく読めるようになったら、すべて覚える。これを「暗唱(あんしょう)」といいます。すべて「暗唱」してから授業に臨む、これが「予習」の神髄(しんずい)です。
- (7)さらに、「書き取り練習」を行う。「予習」をしていてよく書けない語句があったら、正確に書けるようになるまで「書き取り練習」を繰り返すことです。

(8)このような手順での「予習」に、1教科でも多く挑戦しましょう。

(9)この「予習」の仕方は、大学や大学院などに進学したときに、また、社会に出て仕事や様々な活動をするとき役に立ちます。

**Q：復習での「理解」のポイントは何ですか。**

A：(1)学校や開倫塾での授業が終わったら、できればその日のうちに、教科書や教材、問題集、授業ノートをもう一度「じっくり読み直す」ことです。そして、どのような内容であったかを一つ一つ思い出し、考えることです。例題や問題はすべて解き直すことも欠かせません。

(2)このようにして「復習」をし、よく理解できないことがあったらどうするか。辞書や百科事典、用語集、参考書、インターネットなどで調べることが欠かせません。調べた内容はすべてノートに書き写し、繰り返し読み直してすべて覚えましょう。

(3)この「復習」の仕方も、大学や大学院などに進学したときに、また、社会に出て仕事や様々な活動をするとき役に立ちます。

**Q：このような予習と復習はどこで行えばよいのですか。自宅には十分な辞書や百科事典、用語集、参考書、インターネットなどありません。**

A：(1)素晴らしいご質問です。よく考えれば答えは簡単、「図書館」です。

(2)学校の図書館や地域の図書館は、皆様がよくわからないことを調べるために存在するものです。

(3)もちろん、自宅で教科書や教材、問題集、授業ノートを用いて勉強することは大切です。しかし、それらを勉強していて、よくわからないことがあったときに、もっと深く調べるのに一番適しているのは図書館です。

(4)図書館には、辞書や百科事典、用語集、参考書、インターネットなどがそろっていて、授業の「予習」や「復習」をしていて理解できないところを調べることができます。

(5)どのように調べたらよいかわからないときの相談に乗ってくれるのが、「図書館司書」の先生です。大きな図書館には「学術専門員」もいます。遠慮しないで、何でも相談してください。

(6)図書館を十分に使いこなすには、1日も早く図書館の使い方を身に付けて、行きつけの場とすることが大切です。

(7)学校の図書館には毎日行くこと、地域の図書館には週に1回以上行くことをお勧めします。

(8)多くの大学では、地域の人々に「大学図書館」を開放しています。是非、近くの大学図書館にも一度出掛けて、勉強してみてください。開倫塾の塾生の皆様の大多数は、将来大学などに進学なさいますので、今のうちから大学図書館にも慣れておくことをお勧めします。